



## マイナンバーカードの強制はおかしい!

国は2024年秋に紙の保険証を廃止してマイナンバーカードに一体化と表明。これは誰もが使う保険証の機能を同カードと一本化することで法律上「任意」とされてきたカードの取得を事実上強制するものです。

この報道の後、市役所のカード申請窓口は75分待ちでした。「大変だ。早く取得しないと医者にもかかれなくなる」「どうせ強制されるならマイナポイントもらえるうちに」とあわてて申請に来られたというところでしょうか。

「アメ」と「ムチ」の両方を使ったなんと姑息なやり方か。取得促進の費用は全部国民の税金なのに……。

2016年1月から交付が始まり6年半かけ、やっと交付率が50%を超えたと報道が先日ありました。これはまだ半分の国民が申請していないという事実です。

国はなぜ信頼されないのか、カード取得が増えないのかを、もっと考えるべきだと思います。

私のかかりつけの医院や歯医者には受付に「マイナンバーカードはいりません。今まで通り保険証を提出ください」と掲示があります。

高齢者が多い医療現場。紛失なども怖くてカードをずっと持ち歩くことに不安がある。医師会も会見で「混乱が生じかねない」と懸念を示しました。私はカードを作る気はありません。



## 小笠山の自然観察会に参加

久々の自然観察会で会いたかった花や鳥に会い、改めて身近な自然の持つ力を感じました。コツコツ遊歩道を整備し、動植物の保護をする方がいて守られているもの、引き継がれていくものがあるのだと思います。バーチャルでは味わえない本物の力です。



山崖に咲く  
ホトトギス

私も、コツコツ草刈りをし、落ち葉を掃き、花を植え、心地よく自然とつきあっていきたいです。

## 日常を安心して過ごすために

ふれあい広場、横須賀ちっちゃな文化展。催しで久々に人に会える喜びを感じます。この日常を支えるためにもコロナ感染を防ぎ、命と健康を守るための対策が求められます。

9/26から発症届の届出限定化が始まり、市内の感染者数は報告されなくなり、感染実態は見えにくくなりました。

現在掛川市はホームページで、西部保健所管内（湖西・磐田・袋井・掛川・菊川・御前崎・森の6市一町）の週間感染者数の公表をしています。

◎9/26からの変更点◎  
届出対象者は以下のいずれかに該当する方に限定されます。

- ・65歳以上
- ・入院を要する方
- ・重症化リスクがあり、コロナ治療薬又は酸素投与が必要な方
- ・妊婦

※届出対象者に該当する方は、感染者のうち約2割といわれ、のこり約8割の方について把握できている情報は、毎日の県内感染者数と左記の週末に出る保健所管内の数字のみになります。

西部保健所管内週間感染者数は

・10/7	10/13	622人
・10/14	10/20	1380人

と倍増しています。

専門家は底を打って再び増加に転じているコロナの感染拡大に警鐘を鳴らしています。

第8波で検査や医療につながらない方が出ないように冬期、流行が懸念されるインフルエンザや他の病気への対処が遅れないような対策を求めています。

公衆衛生は自己責任に帰すような事柄ではなく政治の責任です。